

ShibuyaAR

渋谷をアートの街に・・・

メンバー

福宮 周真 (リーダー)

上関 健太郎 (AR開発)

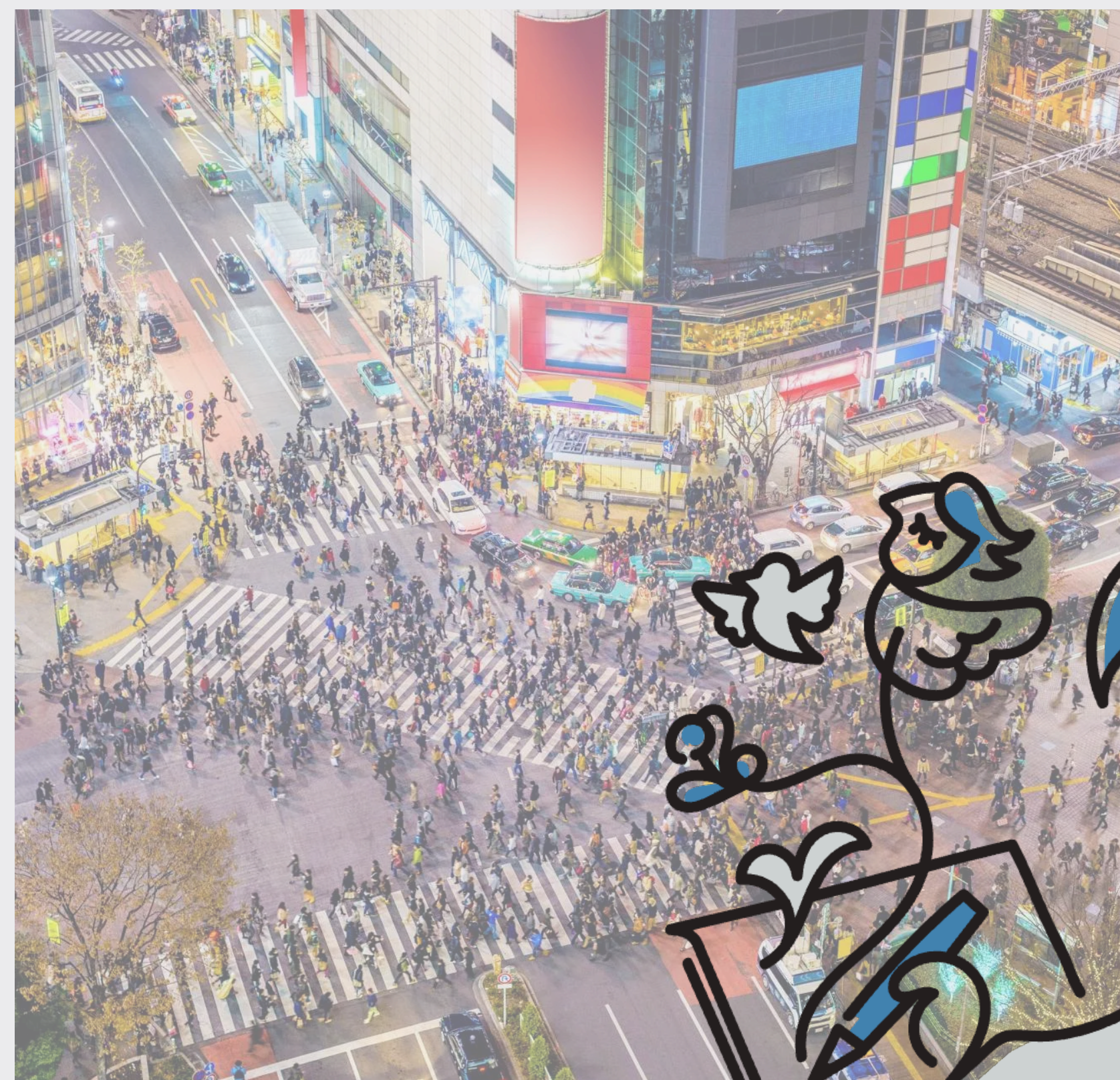
高橋 基陽 (アプリ開発)

半田 一悟 (AR・アプリ補佐)

アプリ概要

渋谷の街にARで 絵を描けるアプリ

自分好みの視点から
ARでアートを表現できます。



アプリの背景と目的

渋谷をアートの街 にしたい...

渋谷にはウォールアートのような
アートに関する一面がある。

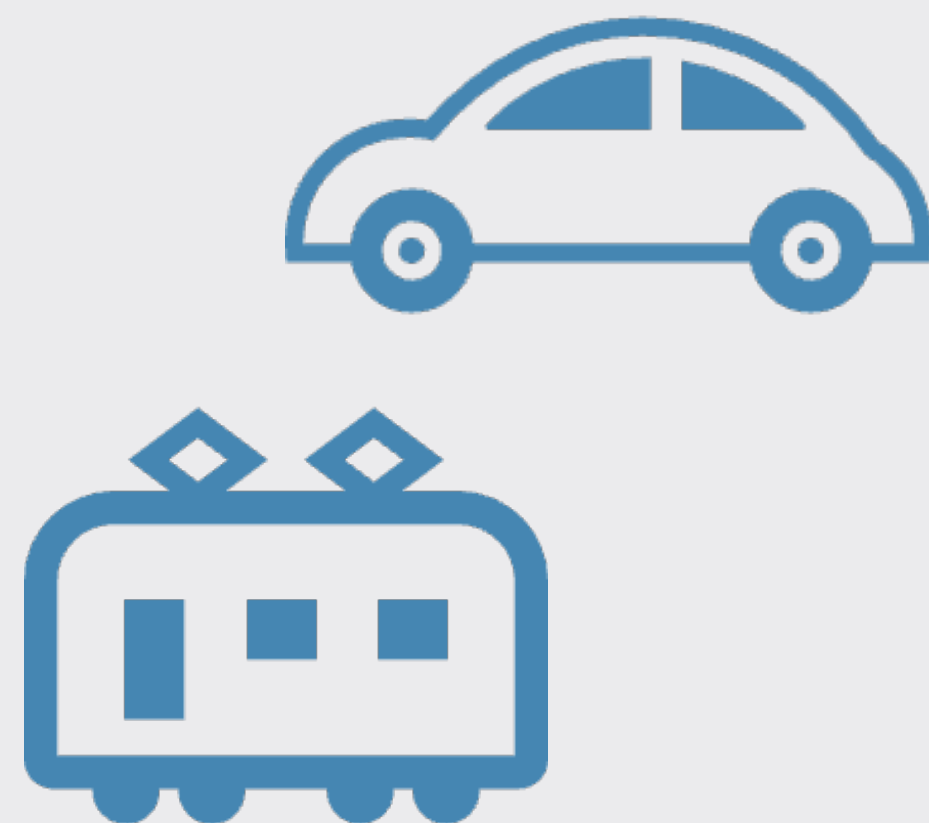
しかし、道具や場所の準備、街の治安などを考えると
どこでも自由に描けるわけではない...。



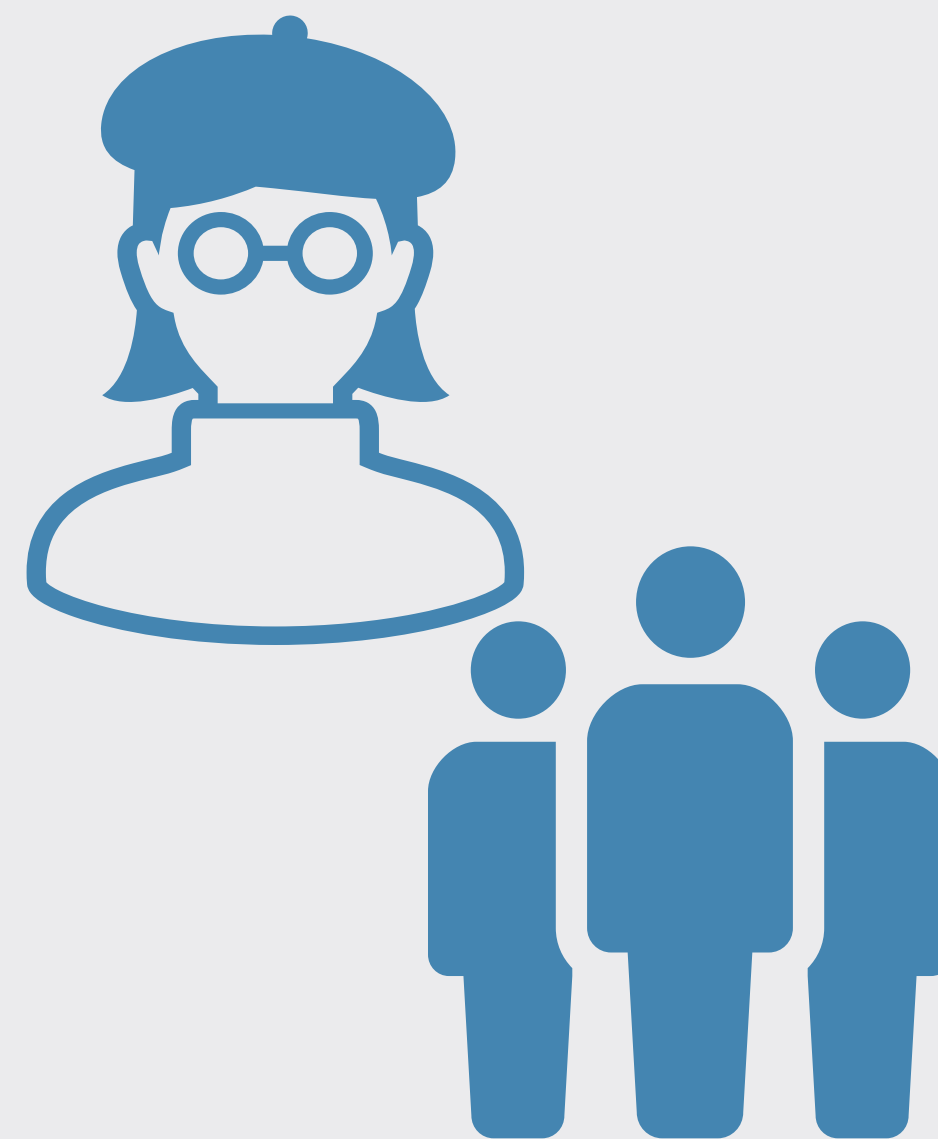
渋谷に来てもらう



誰でも街に絵を
描けるように



絵を描くとアート
を觀に街に来る人
が増える



アーティストとの
コラボやイベント
渋谷を楽しむきっか
けを増やします

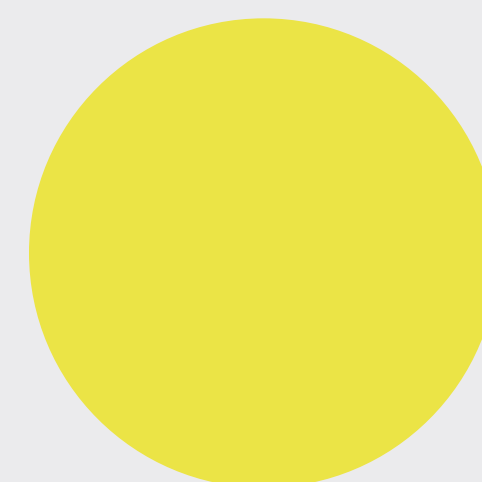
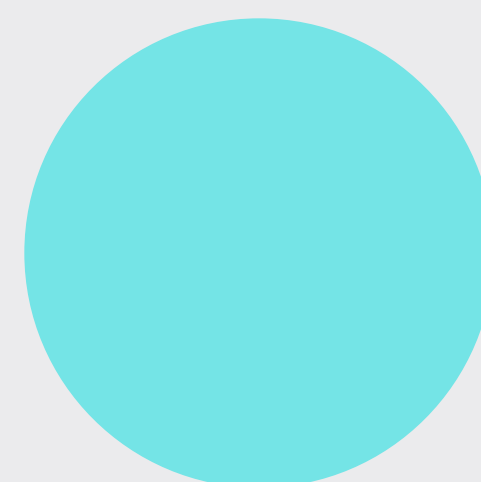


自分の落書きは他人
の画面を通して見た
り、SNSシェアする

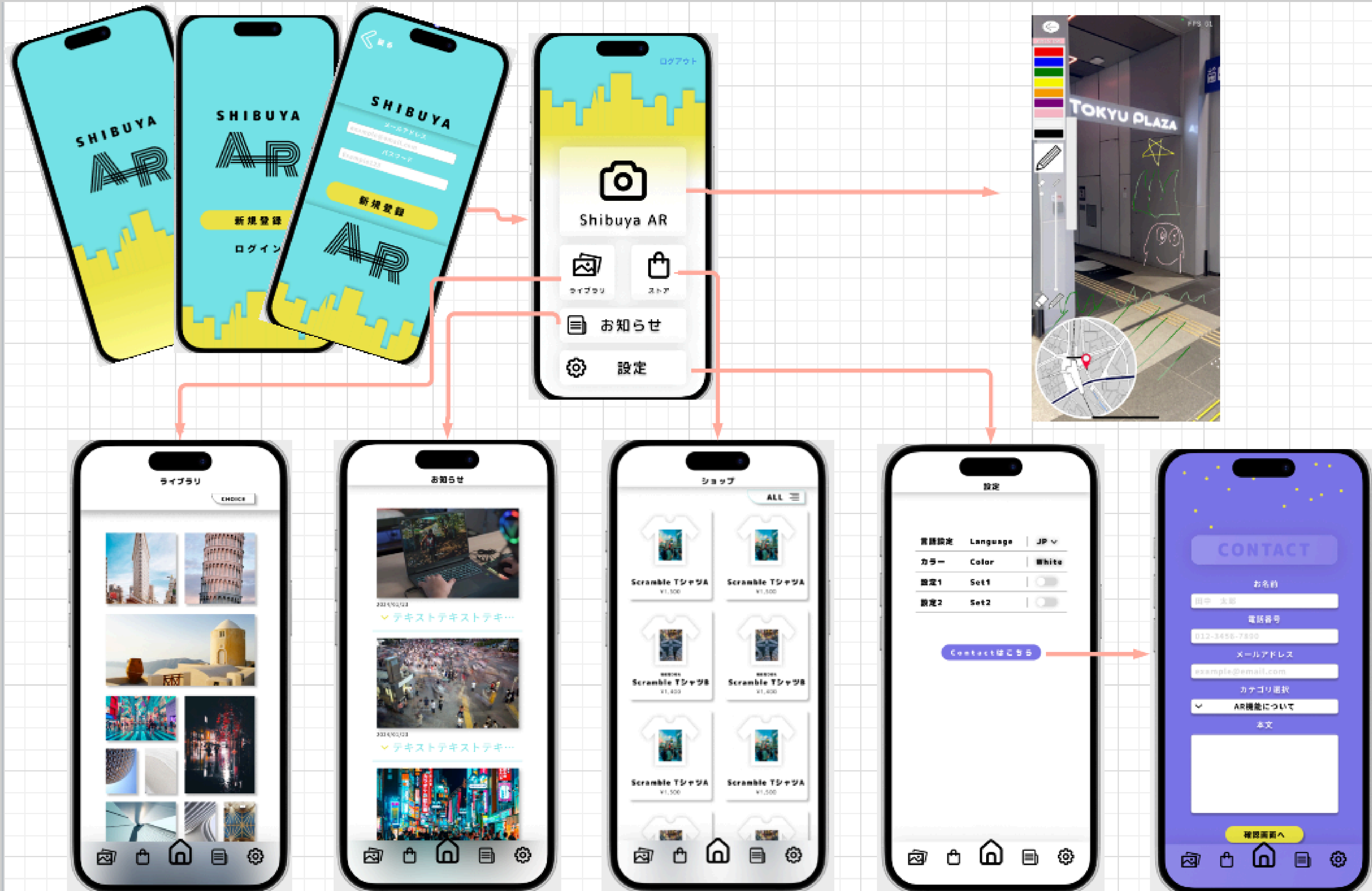


アプリイメージ

解放感のある空色と
レモンの様なフレッシュなイメージの黄色
を使用しています。



画面遷移図



操作画面

自由に描けることを
目指し各種機能を
搭載。

他デバイスとの共有も実装予定。



※ 画像は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合がございます。

メイン機能について

- メイン描画システム
- 消しゴム
- 線の太さ・色の変更
- MAP(位置情報)機能 ※
- 他デバイスと景色共有 ※
- ギャラリー機能 ※

※現在は未実装の機能です。

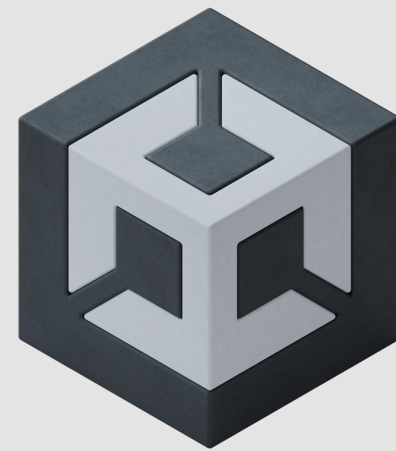


アプリ自体はモバイルでの運用を想定

開発環境



XCode
Swift



Unity
C#



Github
git

開発ツール



Firebase



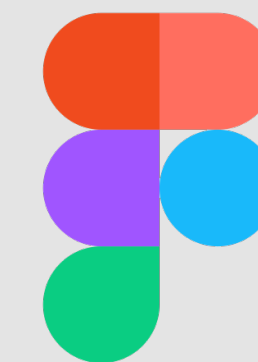
ARKit



ARCore



UniversalRenderPipeline



Figma

ターゲット

アーティスト・若者層

- Z世代・SNSユーザー
- アーティスト、インフルエンサー
- 訪日観光客や渋谷を訪れる人々

一般・ファミリー層

- 幼児～小学生＋親世代のユーザー
- 幼稚園・小学校の教育関係者
- その他自由な表現に感心のある人



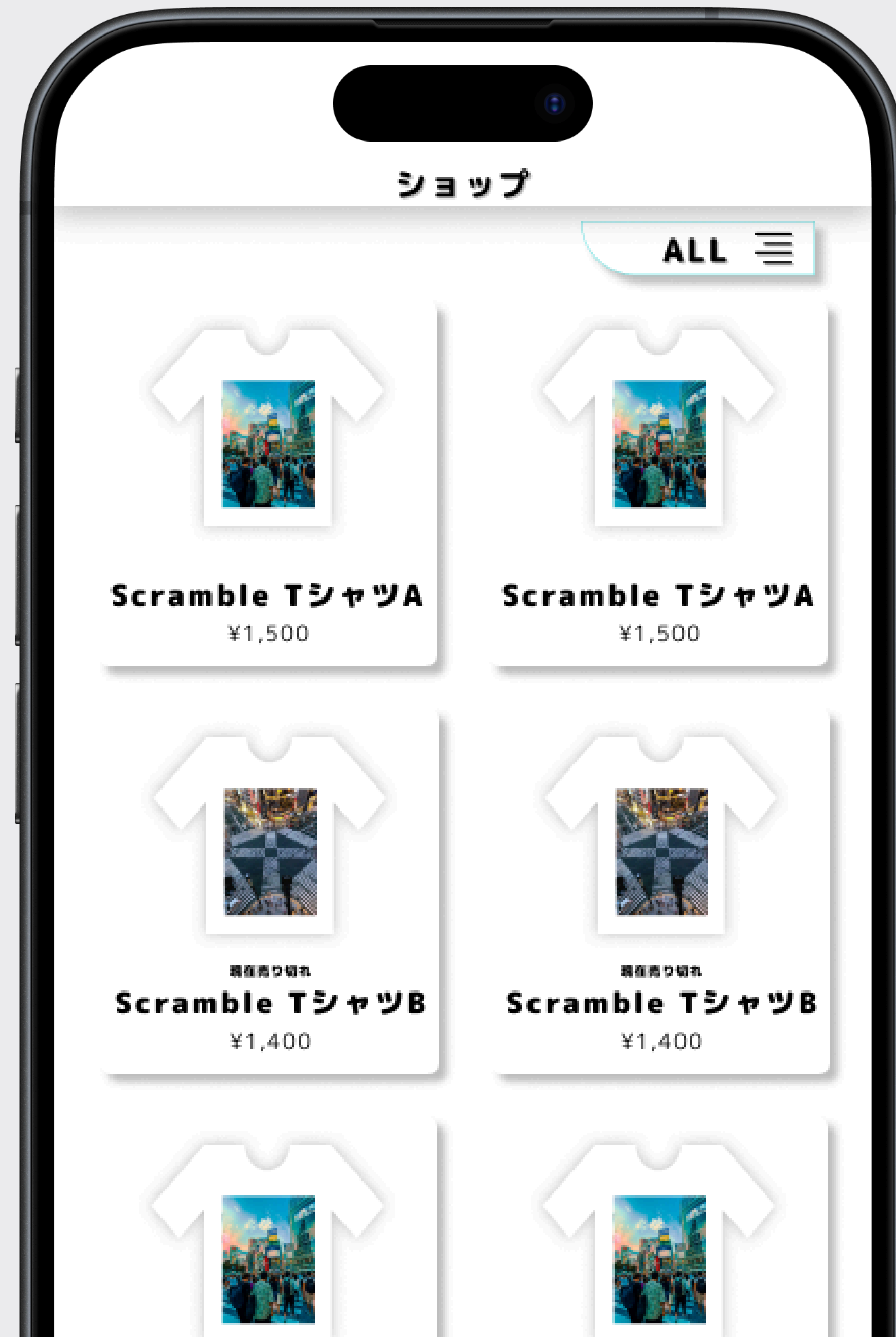
幅広いターゲットを想定

マネタイズ

ビジネス スポット

ショップ機能で自分のイラストやARと街並みの写真がプリントされた様々なグッズを販売

また、アーティストとのコラボイベントや知育アプリとしての運用、ファミリー向けのサービスなど**拡張性は様々**



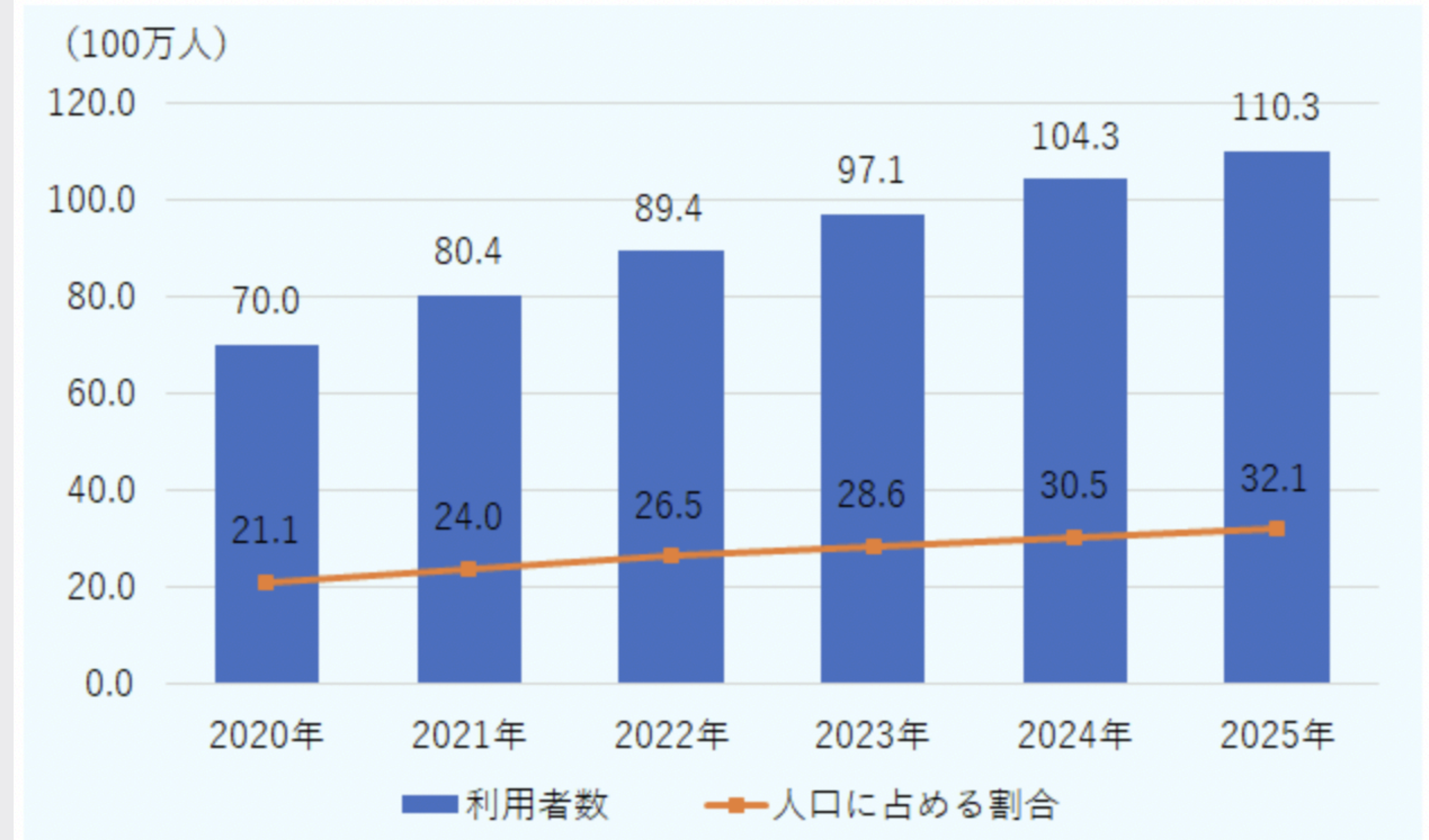
コップや
スマホケース
等...

市場調査

米国のAR 利用者の推移

市場は急速に成長しており、特にエンターテインメント、ゲーム、教育分野などで利用が拡大中。
今後も成長が見込まれる。

図：米国におけるAR利用者の推移（2020～2025年）



出所：イーマーケターのデータを基にジェトロ作成

競合調査

XR City



新しい街の体験

新感覚街遊びAR

GENAR



建設業特化型ARアプリ

現場での見える化

TerraceAR



工事現場での活用

モデルを照らす

差別化・強み

ARを「観る」コンテンツが多い中で
ARに自分で「干渉」できるコンテンツは少ない

一般のユーザーがARへの **干渉を可能に** することで
今までARコンテンツに興味がなかった人を呼び寄せる